

小学校高学年の部

優良賞

「未来の沖縄の海をかがやかせ！」

沖縄アミークスインターナショナル5年生 梁 賢

私は最近、なぜ海にゴミをすてる人がいるのかな、なぜ海にゴミをすてるのかな、と思うようになった。このかがやく沖縄の海がだんだんよごされていく、海の気持ちはだんだんしぼんでいく。そう思うようになったきっかけは、シュノーケリングに行った時のできごとでした。

この前、真栄田ビーチに行った時のことです。海に入る前、私は「どうせ魚いっぱいいないでしょ、沖縄の海もよごれていってるって前聞いたことあるし。第一ここの目的は青の洞窟なんだから。」とつぶやきました。きたない海に入るのは少し遠慮したかったけれども、サンゴ再生プロジェクトのKISSクラブに入っていたので、まあ少しは見てみましようかという気持ちで海に入りました。海の中を見た時、

「あれ？こんな浅い所に、あんなきれいな魚がいる！まさか？！」

とてもおどろきました。そこには、小さなピンク色をしたサンゴやウニ、そしてきれいな魚達もいたのです。気のせいかと思って、一度目をギュッとつぶってからまた見てみました。本当にいました。しかもゴミも見当たらなかったし、とにかくきれいだったのです。コーチに誘導されて五十メートルくらいの深さの方まで行きました。私は心の中で、

「もう最高！！やばすぎるでしょこれ。まだ沖縄の海よごれてないじゃん！！」とはしゃいでいました。そこで私が見たのは、美しくゆれるサンゴ、楽しく泳ぎ回る魚たちの元気な様子、そしてゴミ一つないきれいな海でした。あまりにも下の景色に見とれて、ホースの先から海のしょっぱい水が入ってしまうほど

でした。レインボーの魚もいたし、青い小さな魚もいました。他にも様々な種類の魚がたくさんいました。うきうきわくわく下の楽しい景色を見ながら洞窟まで行きました。洞窟の中の魚を見ながらやっと青の洞窟のそのスポットまで来ると、コーチが、

「これから絶対顔をあげちゃだめだよ！リアクションがなくなるからね。」

何のことか分からなかったけど、顔をあげないことにしました。

コーチが顔を上げてと言ったので顔を上げると、海の水が水色に光っていました。あまりの美しさにあぜんとしてしまいました。

でもその時、なんとおかしなふくろを見つけてしまったのです。私は怒りでいっぱいになりました。せっかくきれいな海がまだ残っているのに、このままだとだめになってしまいます。私達は未来の人々のためにも、海をきれいに保っていかなければなりません。かわいい魚たちのいるすばらしい沖縄の海をいつまでもいつまでもかがやかせるために。